

平成31年1月

市長年頭記者会見次第

1. 日 時：平成31年1月4日（金） 10：00～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室（市庁舎4階）
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - （1）平成31年（2019年）金沢市長年頭記者会見資料
 - （2）その他

1 新年度予算編成に向けて

- ・「責任と誇りを持てるまち」として持続的に発展を続けていくためには、国内外との交流や市民の自立を促すとともに、次の一手を着実に打つことが重要であり、世界の交流拠点都市の実現に向けた重点戦略計画の実践に全力を挙げる。
- ・特に、スポーツ文化の推進や建築文化の発信など、まちの個性を生かした施策の推進や、地域コミュニティの充実と市民協働・広域連携の促進、生産性の向上と働き方改革の実現、未来を担う子供施策の充実などに力を注いでいく。

2 活力あふれるまちづくり

- ・新産業の創出に向けて、検討懇話会を開催し、既存の市有施設等を活用した価値創造拠点の基本構想を策定し、設置場所を決定。（2月予定）
- ・働き方改革を推進するため、具体の施策を盛り込んだ金沢版働き方改革推進プランを策定。（2月予定）
- ・宿泊税の活用策について、現在とりまとめを行っているパブリックコメントの結果等も踏まえ、明年度予算に反映させ、市民生活と調和した持続可能な観光の振興をめざし、宿泊税を導入する。（4月施行）
- ・老朽化が進む卸売市場の再整備について、設置主体や設置場所、民間活力の導入等について議論を進め、方針をとりまとめる。（年度内）

3 個性が輝く魅力づくり

- ・城北市民運動公園では、市民サッカー場を収容人員 1 万人にする再整備基本計画をとりまとめる。（年度内）
- ・また、年間を通じて天候に関わらず様々な運動ができる屋内交流広場が完成。（4月オープン予定）
- ・フランスの水泳及びウェイトリフティングのナショナルチームが事前合宿を実施。（今夏）
- ・建築文化の魅力発信拠点となる「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」を開館。（今夏）
- ・ユネスコ創造都市ネットワーク分野別会議を国内で初めて開催。（今秋）
- ・新たな眺望景観の創出をめざし、条例を制定。（3月予定）
- ・金澤町家の保全・活用について、解体時における事前届出を義務化し、改修時の法的制限を一部緩和する条例を制定。（3月予定）

4 未来を育む人づくり

- ・子供の貧困について、パブリックコメントを実施した上で、長期的な視点で取り組む基本計画を策定。(2月予定)
- ・金沢の子育て・教育を考える懇話会において、今後の子供施策の充実に向けた一定の方向性を示す。
- ・青少年の学びの場となる長土塀青少年交流センターを開館。(7月予定)

5 安全で安心なくらしづくり

- ・抜本的に改定した道路除雪計画に基づき、雪害対策に万全を期す。
- ・I o Tを活用した認知症高齢者の見守りネットワーク事業を開始。(2月から)
- ・災害時における医療救護体制の強化をめざし、医師等の避難所への配置体制を見直すとともに、災害に備え、平常時に避難行動要支援者名簿を提供するための条例を制定。(3月予定)
- ・市民の利便性向上に向け、第5週目がある月の容器包装プラスチックの収集回数を増加。(4月予定)

6 協働と連携の絆づくり

- ・活力ある地域社会を維持するための中心・拠点として、国から中枢中核都市とされたことを踏まえ、近隣市町等との連携をより一層深め、圏域全体の魅力向上に努める。
- ・広域連携をさらに促進するため、近隣市町等の間で、上下水道事業や公共施設等の適正配置など、様々な分野で連携を一層深める。
- ・金石地区で旧町名である金石新町、金石今町及び金石海善寺町の復活に向けて、現況調査を実施。
- ・旧観音町地区の3町会の旧町名を復活。(今春予定)。
- ・9月末にオープンした市民活動サポートセンターで、地域団体やNPO等の総合的な支援を実施。